

公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |             |    |              |
|----------------|-------------|----|--------------|
| ○事業所名          | フォーリーフジョブトレ |    |              |
| ○保護者評価実施期間     | 2024年12月1日  |    | ～ 2025年1月31日 |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)      | 60 | (回答者数) 35    |
| ○従業者評価実施期間     | 2024年12月1日  |    | ～ 2025年1月31日 |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)      | 14 | (回答者数) 8     |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年2月28日  |    |              |

## ○分析結果

|   | 事業所の強み(※)だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等   | さらに充実を図るための取組等                                   |
|---|--|---|--|
| 1 | 支援スペースが一階と二階で分かれていること                      | クールダウンを子どもたちが自ら行えるように、一階や二階に避難してもいいと伝えていることで、自分から行動に移せる子が増えてきている。 | 静かに過ごしたい子達が自分から移動が出来るように、部屋の使い方を明確に伝えられるようにしていく。 |
| 2 | 専門的支援が個々に合わせたものが出来ている                      | 公認心理士の元で個々に合わせた s s t などを行い、個別の空間を使い悩み相談なども行っている。                 | 個別支援計画や支援にも生かしていき、今より充実したものに出来るようにしていく。          |
| 3 | 緊急時のマニュアルなどがファイリングして保管がしてある。               | 災害時や感染対応などのマニュアルをそれぞれファイリングして保管をすることで、緊急時にすぐに確認を取れるようにしている        | 実際にこのマニュアルを使い、指導員全員が動き方を分かるように周知をしていく。           |

|   | 事業所の弱み(※)だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等                                       | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等  |
|---|--|---|---|
| 1 | 階段をのぼる必要がある                                | 足が不自由な子や階段の上り下りが苦手な子、また気分が上がると階段を勢いよく上り下りする子がケガの危険性がある。 | 足が不自由な子や階段が苦手な子に対しては指導員が必ず補助出来る体制にしておく。また活動後など一斉に階段を降りる時は必ず声掛け、見守りをしていく |
| 2 | 支援方法の統一化                                   | 子どもの年齢が上がることで職員によって見せる顔が変わってくるので、それぞれに合わせた支援が必要になってくる。  | 昼礼や終礼でその都度、子どもの様子を聞き対応の仕方を共有して統一出来るようにしていく。                             |
| 3 | 事業所内で行われていることが分かりにくい                       | 活動内容や、専門的支援内容など配布するプリントだけでは分かりにくい部分がある。                 | 支援計画作成時に面談を行い、そこで普段どのように過ごしているかを伝えていく。                                  |